

「いじめを見逃さない長野県」を目指す共同メッセージ」が発表されました。

8 月 7 日(火)に知事と教育長の合同会見が行われ、知事・教育委員長の連名で「いじめを見逃さない長野県」を目指す共同メッセージ」が発表されました。

教育委員会や学校が本気でいじめ根絶に向けて頑張るという強い決意を示す取組の一環です。本校には「いじめ対策委員会」があり、また生活指導係が、いじめの早期発見のために、生徒を対象としたアンケートを例年実施しています。生徒並びに保護者の皆様には、いじめに限らず、何かご心配なことがあれば、まずは担任にご相談ください。

平成 24 年 8 月 7 日

～長野県のすべての子どもたちへ～

“いじめを見逃さない長野県”をめざす共同メッセージ

長野県知事 阿部 守一
長野県教育委員会委員長 矢崎 和広

長野県に住んでいるすべての子どもたちに伝えたいことがあります。

私たちは長野県からいじめをなくしたいと本気で考えています。いじめられている子どもがいたら、全力でその子を守りたいと思っています。

いままで、私たちおとなは、いじめられた子どもたち、いじめてしまった子どもたち、いじめを訴えてきた子どもたちの声や気持ちを、十分に受けとめきれなかったことがあったかもしれません。

いじめられるのは、その子が悪いからではありません。いじめられていい人なんて誰一人いません。私たちは、いじめを絶対に見逃してはいけないと思っています。

いじめをなくすためには、みなさんの協力がどうしても必要です。

あなたが、いじめを見かけたら、また自分がいじめを受けたら、勇気を出して、できるだけ早く、誰か身近なおとなに相談してください。

あなたの声をちゃんと聴くことができるように、私たちは、これから一生懸命に努力します。

自分のつらい気持ちをわかってくれるおとなが見つかるまで、絶対にあきらめないでください

あなたが困っている時に、必ず助けてくれるおとながいるということを、どうか信じてください。

みなさんが直接相談できる電話を用意して待っています。どんなことでもかまわないので勇気を出して電話してください。

- こどもの権利支援センター 026-235-7458 または
- 24時間いじめ相談電話 0570-078310

平成 24 年 8 月 7 日

～長野県のすべての大人のみなさまへ～
“いじめを見逃さない長野県”を目指す共同メッセージ

長野県知事 阿部 守一
長野県教育委員会委員長 矢崎 和広

いま私たちは、いじめを見逃さず、いじめから子どもを守るという決意を、長野県のすべての大人のみなさんに向けて呼びかけます。

いじめは、いじめられる子どもはもちろんのこと、いじめをしてしまう子どもにとっても大変不幸なことです。どの子どもたちも苦しんでいます。

長野県の子どもたちが、互いにいじめたり、いじめられたりという関係にならないように、私たち大人が、身近にいる子どもたちをしっかりと見守っていかねばなりません。

連日のように、全国各地でいじめによる悲しく痛ましいニュースが報道されています。そして残念ながら長野県でもいじめは存在しています。

そうした現状に対して私たちは、“いじめをなくしたい”という一人ひとりの思いをあらたにし、今後、長野県の子どもたちがいじめによって辛く悲しい思いをすることがないように、子どもたちへの日々のまなざしを大切に、子どもたちの声に丁寧に耳を傾けなければなりません。

どのような理由があっても、いじめが正当化されることはありません。

いじめという行為は絶対に許されないという強い意志を、大人どうし、そして子どもたちと共有することが、いじめから子どもたちを守る第一歩です。

私たちが行政として、これまでの経験をしっかり活かし、学校や保護者、市町村などのみなさんと密に連携しながら、いじめを見逃さない、いじめに苦しむ子どもを出さないための具体的な方策を、ひとつひとつ着実に、そして継続的に実施していきます。

もしあなたの身近に、いじめられたり、逆にいじめたりする子どもがいるならば、その事実を放置したり、対応をあきらめたりすることなく、私たちと共にいじめに向き合う勇気を持ってください。ぜひ私たちと一緒に考え、行動しましょう。

なお県では、以下の支援センターで、大人のみなさまからのご相談もお受けしています。いじめ対応についてどうぞお気軽にお電話ください。

● こどもの権利支援センター 026-235-7458

(大人からのご相談もお受けします)

平成 24 年 8 月 7 日 共同会見資料